

## タッチレスでエレベータを操作する フジテック(株)「非接触ボタン」を分譲マンションで初めて搭載 ～新たな生活様式・居住者ニーズに対応～

日鉄興和不動産株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:今泉 泰彦)は、フジテック株式会社(本社:滋賀県彦根市、社長:内山 高一)が2020年4月1日から発売を開始した標準型マシンルームレス・エレベータ「エクシオール」を「(仮称)神奈川県横浜市中区翁町二丁目共同住宅新築工事(以下、本計画)」に導入し、手をかざすことによりエレベータを操作できる「非接触ボタン」の機能を搭載することを決定しました。

なお、分譲マンションのエレベータにエクシオールの「非接触ボタン」を搭載することは、本計画が初の取り組みとなります。(2020年8月6日現在)

「非接触ボタン」搭載決定の背景には、公衆衛生に対する社会的な意識の高まりがあります。新たな生活様式や居住者のニーズに対応し、より安心安全な居住空間を今後も追及してまいります。

### ■「(仮称)神奈川県横浜市中区翁町二丁目共同住宅新築工事」について

本計画は、横浜市中区の、JR根岸線「関内」駅から徒歩5分という希少な立地において総戸数39戸(予定)の分譲マンションを建設する事業です。間取りは1LDKが中心の単身者向けマンションを計画しており、本年8月下旬に着工、2021年11月下旬の竣工を予定しています。

### ■非接触ボタンについて

赤外線ビーム式のセンサーを用いた「非接触ボタン」に手をかざすと、エレベータの呼び登録(エレベータホールでエレベータを呼ぶこと)や行き先階登録(かご内で行き先フロアを指定すること)ができます。

センサーは手をかざすことで赤外線ビームの反射を検知し、反応する仕組みです。ボタンに触らずエレベータを操作できるため衛生的です。今までのエレベータの操作性をそのままに、タッチレスに対応した機能で、簡単かつスピーディーに操作できることが特徴です。



▲ハイブリッド型イメージ図  
(左:かご内、右:乗り場)

■ (仮称) 神奈川県横浜市中区翁町二丁目共同住宅新築工事 計画概要(2020年8月現在)

- ・所在地 神奈川県横浜市中区翁町2丁目7-5,7-6 (地番)
- ・交通 JR根岸線「関内」駅徒歩5分、  
横浜市営地下鉄ブルーライン「関内」駅徒歩7分
- ・総戸数 39戸(予定)
- ・構造・規模 鉄筋コンクリート造 地上11階建
- ・敷地面積 399,00㎡
- ・売主 日鉄興和不動産株式会社
- ・設計・監理 有限会社恒企画
- ・施工 風越建設株式会社

〈スケジュール〉

- ・着工 2020年8月下旬(予定)
- ・竣工 2021年11月下旬(予定)
- ・HPアップ 2020年10月中旬(予定)
- ・契約開始 2021年1月以降(予定)

〈本件に関するお問い合わせ先〉

日鉄興和不動産株式会社 広報室 担当：吉田

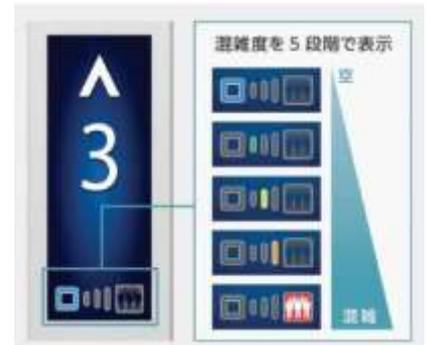
TEL：080-8438-9224 E-mail：mikiko.yoshida@nskre.co.jp

〈添付資料〉

## ■フジテック社製「エクシオール」の最新機能

### ・混雑度表示

かご内の混雑状況を乗り場インジゲーターに 5 段階で表示します。利用者は到着するエレベータにどのくらいの人に乗車しているか事前に把握できるため、「ほかに利用者がいるから見送ろう」、「混んでいるから階段を使おう」、「降りてくる人に備えて、ドアの脇に立とう」といった判断の一助となります。



▲混雑度表示のイメージ

### ・エレベータ専用クーラー（標準装備）

エレベータへのクーラー搭載率が過去 5 年で約 4.1 倍（フジテック株調べ、2014 年度と 2018 年度の比較）に増加していることを受け、かご内に設置するエレベータ専用クーラーを標準装備しました。

厳しさを増す日本の夏に、涼しいエレベータが移動空間をより快適にします。

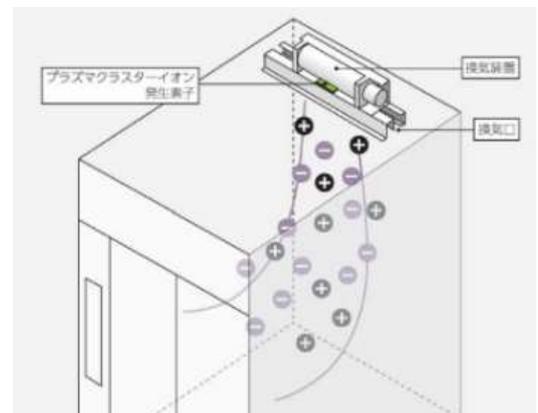
### ・プラズマクラスターイオン発生装置

浮遊カビ菌やタバコ付着臭を分解・除去するシャープ株式会社の「プラズマクラスター技術」を活用し、エレベータのかご内に、プラズマクラスターイオンを放出。エレベータ内の空気を浄化して、利用者を快適にします。

※プラズマクラスターの効果は、エレベータの使用場所の状況や使い方によって異なります。



シャープ株式会社の「プラズマクラスター技術」を活用しています。プラズマクラスターロゴおよびプラズマクラスター、Plasmacluster はシャープ株式会社の登録商標です。



※本リリース記載の商品内容は 2020 年 8 月時点のもので内容が変更になる可能性があります。